

一般社団法人

日本テレマン協会

2021 年度 活動報告書

バツハからベートーヴェンまで
日本テレマン協会
since 1963



Telemann Institute Japan

CONTENTS

4	TOPICS
5	日本テレマン協会について
5	日本テレマン協会について
5	テレマンとは
6	延原武春
7	テレマン室内オーケストラ
7	テレマン室内合唱団
8	公演記録
8	定期演奏会
11	マンスリーコンサート
14	依頼公演について
16	学校公演について
17	社会的活動について
18	年表
20	日本テレマン協会後援会について
20	役員名簿
20	年表
21	法人会員
21	個人会員
22	日本テレマン協会ディスコグラフィ



2022年1月14日 第284回定期演奏会 公演風景



2022年2月8日 子どものための文化芸術体験支援事業 オンライン公演風景



2022年2月25日 毎日新聞旅行特別企画 公演風景



12月11日 兵庫県立山崎高等学校校歌レコーディング風景



7月8日 テレマン・ランチコンサート 公演風景



11月5日 第521回マンスリーコンサート 公演風景



2022年3月10日 麗しのモーツァルト リハーサル風景



7月19日 第280回定期演奏会（東京公演） リハーサル風景



5月6日 レコーディング風景



5月8日 レコーディング風景



10月8日 第281回定期演奏会 リハーサル風景



12月5日 テレマン・クリスマスコンサート 公演風景

TOPICS

CD「延原武春×小林道夫『無言歌』」リリース



2021年1月に延原武春オーボエ生活60周年記念公演として実施した定期演奏会東京公演のライヴ録音がCDとしてリリースされました。本来は記録用としての録音でしたが、録音を担当したナミ・レコードから、貴重な記録であるからということでCD化のオファーがあり、発売が決定されました。

曲順はCDとしてのバランスを考慮して再配置し、敢えて公演時とは違うものとなっています。本CDの特徴は、公演時のトークも一部収録しているところです。通常公演中のトークはCD化される時にはカットされてしまうことが多いのですが、今回の公演では貴重な内容が多く含まれていたこともあり、収録されることとなりました。

【収録曲】

R. シューマン：女の愛と生涯

L.v. ベートーヴェン：

「蚤の歌 Op.75-3」

「アデライーデ Op.46」

F. シューベルト：

「セレナーデ」

「アヴェ・マリア」

山田耕筰：

「赤とんぼ」

「からたちの花」 ほか

【演奏】

オーボエ：延原武春

ピアノ：小林道夫

CD「テレマン作品集3『様々な楽器のための協奏曲』」リリース



これまでテレマンのCDとしてはテレマン作品集①「昔と今の諸国の人々」(2002年)、テレマン作品集②「7つのトリオンナタ」(2008年)がありました。この度新たに楽団首席奏者や協会所属のソリストによる独奏のテレマン作品集③として「様々な楽器のための協奏曲」のCDをリリースしました。2021年4月に予定していたCDと同内容の公演は新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期・中止となってしまいましたが、レコーディングは予定通り5月初旬に行われ、CDとしては無事リリースされました。リリース記念公演として、同年11月にマンスリーコンサートと定期演奏会東京公演で同内容の公演を実施しました。

【収録曲】

G.Ph. テレマン：

リコーダー協奏曲 へ長調

フルート協奏曲 ニ長調

フルートとリコーダーのための協奏曲

ヴァイオリン協奏曲 イ短調

ヴィオラ協奏曲 ト長調

【演奏】

指揮：延原武春

フルート：森本英希

リコーダー：村田佳生

ヴァイオリン：浅井咲乃

ヴィオラ：姜 隆光

テレマン室内オーケストラ

日本テレマン協会 について

日本テレマン協会について

日本テレマン協会は1963年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現音楽監督・CEO）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの3種類の主催公演を柱として、関西を拠点に50年以上活動し、これまでに文化庁芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008年には協会創立

45周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。また、未来の文化の担い手を育てるため、学校などへの出張コンサートにも積極的に取り組んでいます。

2019年には創設当時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。

音楽監督・CEO：延原武春

副代表：奥田博子

ヨーロッパ総局長：高野昭夫

ミュージックディレクター／

テレマン室内合唱団指揮者：パブロ・エスカンデ

古典鍵盤楽器奏者：高田泰治

ソロ・コンサートマスター：浅井咲乃

首席客演コンサートマスター：ウッラ・ブンディース

エグゼクティブ・アドバイザー：和田誠一郎（弁護士）・永重史郎

オフィス・アドバイザー：奥田忠道

アドバイザー：辻 一郎（元毎日放送取締役）

和田省一（朝日放送音楽振興会理事長）

笠谷和比古（国際日本文化研究センター名誉教授）

上山信一（慶應大学教授 / 大阪府市特別顧問 / 愛知県政策顧問）

園崎明夫（元毎日新聞執行役員 大阪本社副代表）

梅本史郎（株式会社MBSメディアホールディングス 代表取締役社長）

事務局長：今井 良

事務局：中田吉美・野村菜由



テレマンとは

ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681年3月14日～1767年6月25日）は後期バロック音楽のドイツ人作曲家。バッハ、ヘンデルも足元に及ばない高い評価を受けていた作曲家で、大変な多作家としても有名です。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集。延原武春はテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲している」という言葉に感銘を受け、その名前をかかげた楽団を結成しました。

テレマンは大変面倒見の良い人でも

あったそうで、バッハの次男の名付け親でもあり、また自身が音楽監督を務めていたハンブルクで臨終の時を迎える際、後継者にその「次男」カール・フィリップ・エマニュエルを指名したという逸話も残っています。またヘンデルとの親交は深く、ヘンデルはロンドンから様々な珍しい植物をテレマン宛に送っていたそうです。さらに、テレマンが「食卓の音楽」を出版する際、予約者の最初の方にヘンデルの名が入っていたことも有名な話です。

1963年日本テレマン協会の前身である“テレマン・アンサンブル”を結成。以来50年余の歳月を経てその業績は目覚ましく、日本におけるバロック音楽の探究と普及という専門的領域のみならず、その広い視野と行動力によって、特に西日本の音楽文化の広範な普及に多大な貢献をもたらした後、近年では長年の古楽探究を礎とした音楽解釈とその熟練された手腕を持つ巨匠指揮者としての今後が多いに嘱望されている。

指揮者としてライブツィヒ放送交響楽団やゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラなどをはじめとする海外のオーケストラとの共演の機会が幾度もあったにも関わらず、その主眼はあくまでも自らが創設した日本テレマン協会での活動に

注がれた。

1970年代後半からその評価は関西を超えて全国的なものとなり、テレマン室内オーケストラ・テレマン室内合唱団との演奏は文化庁芸術祭・優秀賞やサントリー音楽賞を受賞するまでに高く評価されることとなり、さらにはライブツィヒで開催されたバッハ生誕300周年記念国際音楽祭に日本の団体としては唯一招かれる等、ドイツ各地やロンドン、パリ、ボルドーなどにも招聘され、M. アンドレ、F. アーヨ、M. ラリュー、J.P. ランバル、H.J. シェレンベルガー、P. ダム、A. ビルスマ、G. カーなどの名手との共演の他、J.E. ガーディナー、F. ブリュッヘン、C. ホグウッド、G. ボッセらとも親しく交流することとなる。延原武春

の音楽的業績は、教会の聖堂を舞台としてテレマン作曲の『マタイ受難曲』やマテゾン、テレマン、ヘンデル、カイザーが競作した『ブロッケス受難曲』など本邦初演、ヘンデルの『メサイア』9種類の異版を1年に一版ごとに取り上げるなど枚挙に暇がないが、殊にユニークなのが1982年にベートーヴェンの第九交響曲を初演当時の編成と作曲家指定のテンポに従って演奏すること・・・これはその当時としては極めて斬新なアプローチであったため、ガーディナーやホグウッドといった古楽演奏家達が延原の第九の録音を所望したというエピソードは大変興味深い。延原のベートーヴェンに対するアプローチはこれに留まるものではなく、2006年には第九交響曲をクラ



シカル楽器（古典派時代の楽器）で演奏。さらに2008年にはクラシカル楽器によるベートーヴェン：交響曲全曲・合唱幻想曲・ミサ・ソレムニス・ツィクルスを挙げる。これが契機となり延原は『ドイツ連邦共和国功労勲章功労十字小授章』を授賞することとなった。延原の活動の中心には常に日本テレマン協会が存在してきたことは言うまでもないことだが、その合間には海外楽団からの招聘や、岩城宏之音楽監督時代のオーケストラ・アンサンブル金沢や九州交響楽団などからバロックから古典のレパートリーのスペシャリストとして招かれることもあった。2009年には久しぶりに大阪フィルに客演することとなり、2010年

～12年には大阪フィルは延原とともにベートーヴェン：交響曲全曲シリーズを主催。「『大阪フィルの次代を拓く』と言って過言ではない名演」と『田園』がかくも力強く、生命力にみちた音で鳴り響いたことはなかったのではないか」（評：故小石忠男／日本経済新聞9月30日夕刊）などと絶賛を博するなど一際大きな話題となった。また、同時期に日本フィル横浜定期演奏会にも客演。その際のブラームス：交響曲第1番（第2楽章は初稿）はEXTONレーベルからCD化された。2011年には延原の元に多くのプレイヤーが集う「一日だけのオーケストラ」としてorchestra Japan 2011が結成され、マーラー：交響曲第4番を演奏。

その演奏はライヴノーツ・レーベルからリリースされ『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれ、これらの成果が契機となってこのオーケストラは2012年にも再結集され、京都・大阪・神戸でやはりロマン派のレパートリーを取り上げている。かつて、アーノンクールやガーディナーといった古楽のスペシャリストたちがヨーロッパのモダン・オーケストラから指揮者として招かれるようになったのと似通ったムーブメントが今、延原武春のもとにも起ころうとしている。

2016年、日本テレマン協会のCEOに就任。2018年には第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra



1963年に指揮者・延原武春が結成。延原の指揮のもとテレマン作曲「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」等数々の作品を本邦初演。サントリー音楽賞を受賞した日本初のプロオーケストラでもある(同賞は現在も当協会と東京交響楽団、京都市交響楽団以外のプロオーケストラは受賞していない)。そのほかの主な受賞歴は、「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」(関西初)等。

1990年バロック・ヴァイオリン奏者のサイモン・スタンデイズをミュージック・アドバイザーとし、バロック楽器(18世紀当時の楽器およびそのレプリカ)による演奏を始める。2003

年にはドイツのバッハ・アルヒーフから招聘を受け「バッハ・フェスティバル」に出演し、C.P.E. バッハ「チェンバロ協奏曲 Wq1」を世界初演した。

2006年からはクラシカル楽器(古典派の時代に使用された楽器およびそのレプリカ)による演奏を始め、2007年には同楽器によるF.J. ハイドンのオラトリオ「四季」を好演。「大阪文化祭賞グランプリ」を受賞した。

「マンスリーコンサート」(会場は大阪倶楽部4階ホール)を舞台に「聴衆とともにつくる価値」の創造に力を入れ、そこをベースに様々な奏者を輩出している。チェンバロおよびフォルテピアノの高田泰治、ヴァイオリンの浅井咲乃など

はその代表的な存在として注目を集めている。

2012年にはドイツよりバロック・ヴァイオリン奏者ウラ・ブندیース氏を首席客演コンサートマスターとして迎えた。

2018年、第九アジア初演百周年記念“よみがえる「第九」演奏会”に出演。

テレマン室内合唱団 Telemann Chamber Chorus

1969年に延原武春が創設した合唱団。主にテレマン室内オーケストラとともに演奏活動を続けており、1985年には「J.S. バッハ生誕300年記念国際音楽祭」に、日本から唯一招待され参加し現地新聞等やその外電も含め当時大きな評判となる。ホームグラウンドとも言えるべきカトリック夙川教会に於ける年4回の「教会音楽シリーズ」は、最も大きな活躍の場となっている。これまでに、ヘンデルの10種類の違ったバージョンを年一回のサイクルで連続的に公演した「メサイア10年連続公演シリーズ」、「ヘンデル本邦初演オラトリオシリーズ」、幻のテレマン作受難曲集の公演「テレマンプロジェクト」、また「延原武春の受難曲シリーズ」を開催するなど、数多くの挑戦的な試みに取り組み、多くの注目と称賛の声を集めている。

特に、大阪のザ・シンフォニーホールにて1983年にスタートした「100

人の第九」と題された公演にはテレマン室内オーケストラと共に出演し、現在でも連続的に継続中しており、人気シリーズとして関西のクラシック音楽の名物公演になっている。

創立50周年を機に、パブロ・エスカンデ氏が合唱団指揮者に、中村朋子氏がディレクターに就任した。エスカンデ氏

は、オランダで作曲家、鍵盤楽器奏者、合唱指揮者としての活躍を経て2012年来日。彼のプログラミングにより、これまで得意としてきた後期バロック時代の作品に加え、初期バロック時代の音楽にも力を入れていくこととなり、新たなレパートリーの拡大とともに、今後の更なる発展が期待される。



公演記録

【計画時】

主催公演 17公演
 定期演奏会 8公演
 マンスリーコンサート 8公演
 その他 1公演
 依頼公演 56公演
 合計 73公演

【報告時】

主催公演 16公演
 定期演奏会 8公演
 マンスリーコンサート 8公演
 依頼公演 63公演
 合計 79公演

延期 主催 1公演／依頼 17公演
 中止 主催 2公演／依頼 40公演

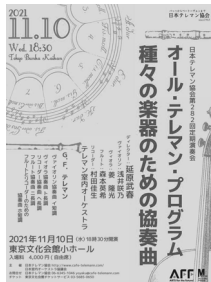
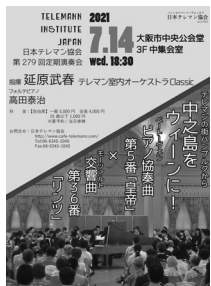
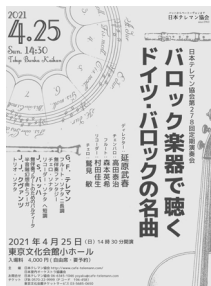
定期演奏会 Subscription Concert

日本テレマン協会第277回定期演奏会

日時 2021年4月5日(月)
 会場 大阪市中央公会堂中集會室
 曲目 W.A.モーツァルト:「第一戒律の責務」序曲
 W.A.モーツァルト:交響曲第39番
 L.v.ベートーヴェン:三重協奏曲
 出演 指揮:延原武春
 フォルテピアノ:高田泰治
 ヴァイオリン:浅井咲乃
 チェロ:鷺見敏
 テレマン室内オーケストラ Classic
 来場者数 166
 備考 2021年度の定期演奏会大阪公演では、2020年度に本来予定していたベートーヴェンの協奏曲群をモーツァルトの後期交響曲群と組み合わせ取り上げました。4月の公演ではまず演奏機会の少ない三重協奏曲をモーツァルトの交響曲第39番と組み合わせました。

【中止】日本テレマン協会第278回定期演奏会

日時 2021年4月25日(日)
 会場 東京文化会館小ホール
 曲目 G.Ph.テレマン:
 フルート・ソナタト長調
 無伴奏リコーダーのためのファンタジー第1番
 リコーダー・ソナタ へ短調
 チェロ・ソナタ
 J.S.バッハ:
 無伴奏フルートのためのソロイ短調
 半音階幻想曲とフーガ
 J.J.クヴァンツ:
 トリオ・ソナタハ長調
 出演 ディレクター:延原武春
 フルート:森本英希 リコーダー:村田佳生
 チェンバロ:高田泰治 チェロ:鷺見敏
 来場者数 -
 備考 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。



日本テレマン協会第 279 回定期演奏会

日時	2021年7月14日(水)
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	W.A. モーツァルト：歌劇「劇場支配人」序曲 W.A. モーツァルト：交響曲 第36番「リンツ」 L.v. ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
出演	指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治 テレマン室内オーケストラ Classic
来場者数備考	212 ベートーヴェンの協奏曲とモーツァルトの交響曲を組み合わせた公演。定番のピアノ協奏曲第5番「皇帝」を取り上げました。

日本テレマン協会第 280 回定期演奏会

日時	2021年7月19日(月)
会場	東京文化会館小ホール
曲目	J.S. バッハ：平均律クラヴィア曲集 第1巻
出演	チェンバロ：高田泰治
来場者数備考	121 高田は2020年6月に感染対策を伴った初めての公演として実施したマンスリーコンサートで本作品を取り上げました。本公演では2回目の演奏となりましたが、雑誌「音楽の友」等で高い評価を頂きました。

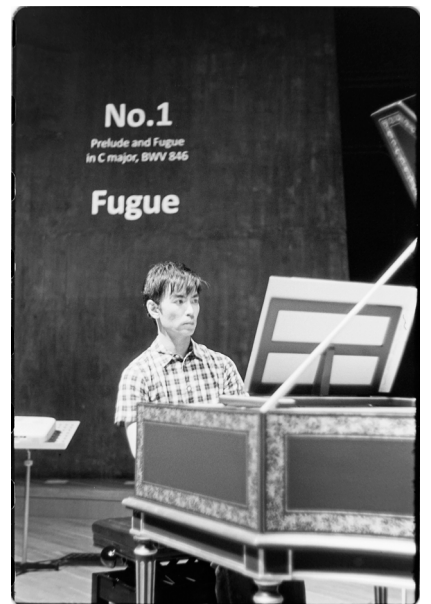


日本テレマン協会第 281 回定期演奏会

日時	2021年10月8日(金)
会場	大阪市中央公会堂中集会室
曲目	J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲
出演	指揮：延原武春 チェンバロ：高田泰治 ヴァイオリン：浅井咲乃 フルート：森本英希 リコーダー：村田佳生 コルノダカッチャ：中島真 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	193 毎年恒例となっていましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で演目が変更となり、2年ぶりの開催となりました。

日本テレマン協会第 282 回定期演奏会

日時	2021年11月10日(水)
会場	東京文化会館小ホール
曲目	テレマン： リコーダー協奏曲 へ長調 フルート協奏曲 ニ長調 フルートとリコーダーのための協奏曲 ホ短調 ヴァイオリン協奏曲 イ短調 ヴィオラ協奏曲 ト長調
出演	ディレクター：延原武春 フルート：森本英希 リコーダー：村田佳生 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ：姜 隆光 テレマン室内オーケストラ
来場者数備考	163 楽団首席奏者と協会所属のソリストの独奏によるテレマンの協奏曲ばかりを集めた公演。同内容のCDの発売記念公演として実施しました。



日本テレマン協会第 283 回定期演奏会

日 時	2021 年 12 月 6 日 (月)
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	147
備 考	例年開催している「ゴルトベルク変奏曲」の公演。

日本テレマン協会第 285 回定期演奏会

日 時	2022 年 1 月 29 日 (土)
会 場	東京文化会館小ホール
曲 目	J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 BWV1007-1012
出 演	チェロ / チェロピッコロ：鷺見 敏
来場者数	211
備 考	首席チェロ奏者の鷺見敏によるバッハ「無伴奏チェロ組曲」全曲の公演。本作品はチェロ奏者にとっては「聖書」のような作品。第 5 番は「スコルダトゥーラ」と呼ばれる変則的な調弦で、第 6 番は 5 弦のチェロ・ピッコロのために書かれています。両作品とも通常のチェロで演奏されることもありますが、本公演ではバッハの指示に忠実に従った形での演奏となりました。

日本テレマン協会第 284 回定期演奏会

日 時	2022 年 1 月 14 日 (金)
会 場	大阪市中央公会堂中集会所
曲 目	W.A. モーツァルト：「コジ・ファン・トゥッテ」序曲 L.v. ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 W.A. モーツァルト：交響曲第 35 番「ハフナー」
出 演	指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ Classic
来場者数	195
備 考	ベートーヴェンの協奏曲とモーツァルトの交響曲を組み合わせた公演。本公演ではコンサートマスター浅井の独奏によるヴァイオリン協奏曲を取り上げました。

マンスリーコンサート Monthly Concert

【中止】日本テレマン協会第 517 回マンスリーコンサート

日時	2021年4月27日(火)
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	テレマン： リコーダー協奏曲 ヘ長調 フルート協奏曲 ニ長調 フルートとリコーダーのための協奏曲 ホ短調 ヴァイオリン協奏曲 イ短調 ヴィオラ協奏曲 ト長調
出演	ディレクター：延原武春 フルート：森本英希 リコーダー：村田佳生 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ：姜 隆光 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い5月26日に延期となりましたが、感染拡大が想定よりも長引き中止となりました。

日本テレマン協会第 518 回マンスリーコンサート

日時	2021年6月10日(木)
会場	大阪倶楽部 4階ホール
曲目	A. ヴィヴァルディ： オーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ヴィオラ・ダモーレ協奏曲 ヴァイオリン協奏曲 「海の嵐」 チェロ協奏曲 オーボエ協奏曲 2つのチェロのための協奏曲
出演	指揮・オーボエ：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ・ダモーレ：姜 隆光 チェロ：鷺見 敏・大熊勇希 テレマン室内オーケストラ
来場者数 備考	53 ヴィヴァルディの珍しい協奏曲ばかりを集めた公演。首席ヴィオラ奏者姜隆光が得意とする珍しい弦楽器「ヴィオラ・ダモーレ」も登場しました。



日本テレマン協会第 519 回マンスリーコンサート

日 時	2021 年 8 月 19 日 (木)
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	W.A. モーツァルト：弦楽四重奏曲 第 1 番 ト長調 F.J. ハイドン弦楽四重奏曲 ハ長調 第 77 番「皇帝」 L.v. ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第 4 番 ハ短調
出 演	ヴァイオリン：浅井咲乃、三谷彩佳 ヴィオラ：姜 隆光 チェロ：鷺見 敏 ディレクター：延原武春
来場者数	116
備 考	楽団首席奏者による弦楽四重奏の公演。ウィーン古典派の作曲家 3 人による作品で、弦楽四重奏の公演としては定番の作品が並びました。クラシカル楽器による本格的な弦楽四重奏は日本においては演奏機会が少なく、貴重な公演となりました。



日本テレマン協会第 520 回マンスリーコンサート

日 時	2021 年 9 月 24 日 (金)
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	G.Ph. テレマン：組曲「昔と今の諸国民」ト長調 J.S. バッハ： 無伴奏チェロ組曲 第 6 番 ニ長調 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第 2 番 ニ短調 管弦楽組曲 第 3 番 ニ長調 BWV1068 (オリジナル版)
出 演	指揮：延原武春 ヴァイオリン：浅井咲乃 チェロ：鷺見 敏 コレギウム・ムジクム・テレマン
来場者数	125
備 考	アメリカの音楽学者リフキン氏による学説に基づき、バッハの管弦楽組曲第 3 番を弦楽器のみで「オリジナル版」として演奏しました。



日本テレマン協会第 521 回マンスリーコンサート

日 時	2021 年 11 月 5 日 (金)
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	テレマン： リコーダー協奏曲 ヘ長調 フルート協奏曲 ニ長調 フルートとリコーダーのための協奏曲 ホ短調 ヴァイオリン協奏曲 イ短調 ヴィオラ協奏曲 ト長調
出 演	ディレクター：延原武春 フルート：森本英希 リコーダー：村田佳生 ヴァイオリン：浅井咲乃 ヴィオラ：姜 隆光 テレマン室内オーケストラ
来場者数	176
備 考	第 517 回公演で予定していた内容を取り上げました。また、同内容の CD 発売記念公演として実施しました。



日本テレマン協会第 522 回マンスリーコンサート

日 時	2021 年 12 月 3 日 (金)
会 場	大阪倶楽部 4 階ホール
曲 目	J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲
出 演	チェンバロ：高田泰治
来場者数	142
備 考	毎年恒例のバッハ「ゴルトベルク変奏曲」の公演。





日本テレマン協会第523回マンズリーコンサート

日 時 | 2021年12月14日(火)
 会 場 | 大阪倶楽部4階ホール
 曲 目 | J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 BWV1007-1012
 出 演 | チェロ / チェロピッコロ：鷺見 敏
 来場者数 | 193
 備 考 | 首席チェロ奏者の鷺見敏によるバッハ「無伴奏チェロ組曲」全曲の公演。東京での公演に先駆けて実施しました。

日本テレマン協会第524回マンズリーコンサート

日 時 | 2022年2月14日(月)
 会 場 | 大阪倶楽部4階ホール
 曲 目 | Love Letters / Manhattan / Fly Me To The Moon
 My Funny Valentine / Stardust / 恋をしましょう
 Someone to Watch Over Me / 月を眺めよ ほか
 出 演 | ヴォーカル：原田紀子、永海 孝
 ストンプ in TELEMANN
 指揮：延原武春
 テレマン・アンサンブル
 来場者数 | 71
 備 考 | 毎年恒例のスタンダード JAZZ を取り扱った公演。例年人気の企画ではありますが、新型コロナウイルスの感染状況が影響し、集客は70名ほどに留まりました。



日本テレマン協会第525回マンズリーコンサート

日 時 | 2022年3月30日(水)
 会 場 | 大阪倶楽部4階ホール
 曲 目 | J.S. バッハ：
 2つのヴァイオリンのための協奏曲
 管弦楽組曲 第3番 (オリジナル版)
 管弦楽組曲 第2番 (オリジナル版)
 管弦楽組曲 第5番
 出 演 | 指揮：延原武春
 ヴァイオリン：浅井咲乃、三谷彩佳
 コレギウム・ムジクム・テレマン
 来場者数 | 155
 備 考 | アメリカの音楽学者リフキン氏の学説によるバッハの管弦楽組曲のオリジナル版の公演。第520回公演では同第3番のみ取り上げましたが、本公演ではフルートの代わりにヴァイオリンが独奏を務める形の同第2番も取り上げました。



依頼公演 について

自治体、企業、団体、ホールなどからの依頼公演を63公演開催し、18世紀音楽の普及に努めるとともに、都心部から離れた会場での公演では、地域のサロンづくりに貢献することが出来ました。前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響があり中止になる公演や公演時間を短縮した公演などもありましたが、徐々に通常と同じ形での公演が実施出来るようになってきました。

単年度ではなく、継続的にご依頼いただいている公演は「第九 de クリスマス (大阪市/ザ・シンフォニーホール)」、「バロックコンサート (池田市/池田市民文化会館)」、「テレマンのバロックの宴 (伊丹市/旧岡田家住宅・酒蔵)」、「学園前公演 (奈良市/学園前ホール)」、「テレマンコンサート in 中崎公会堂 (明石市/中崎公会堂)」などとなっております。令和3年度にはウェーブ産経 (産経新

聞社) や毎日新聞旅行、クラブツーリズムといった旅行社との協働企画によるガスビル食堂やホテルモントレ大阪等での食事付きの公演企画が増えました。

また、2022年1月8日に小野エクラで実施したニューイヤーコンサートは、好評ということで継続的にご依頼頂いています。



第九 de クリスマス

指揮 延原武春
テレマン室内オーケストラ
ソリスト 藤原大由 藤原由希

【第1回】10人の第九
ベートーヴェン 交響曲 第九番「合唱付」全15
【第2回】テレマンのクリスマス名曲集
テレマン 「3つのクランベツと
ティンニのための協奏曲」第1,2楽章
J.S.バハ G線上のアリア
フィガロの夕陽 ヴァイオリン協奏曲集「四季」春 第1楽章
J.S.バハの「カンタータ「目覚めのよど呼ぶ声あり」」第14曲
協奏曲
コンドル オラトリオ「サイアム」バスとソール
コッパニア ヴェルリア
クリスマスキャロル「もろびとこぞ夜で「神の降りは今宵しも」

2022年12/19(日) 1:30pm開演(12:30pm開演) ザ・シンフォニーホール
A5,500円 B4,500円 C3,000円 主催 延原武春 協賛 佐賀県文化振興センター 9/26(日)開演
チケット販売先
チケット販売所 佐賀県文化振興センター 094-6453-4000
06-4653-2323 (受付時間 10:00-18:00)
チケット販売店 ABCO 佐賀県 佐賀市 佐賀県文化振興センター 094-6453-4000
オンラインチケット https://www.asaha.co.jp/symphony/ (チケット販売期間 2022年9月26日～10月15日)
チケット販売期間 2022年9月26日～10月15日
チケット販売先 https://www.asaha.co.jp/symphony/

親子で楽しむ
アーリーサマーコンサート

2021年10月22日(金)
開演 18:30(楽屋18:00)

5/30 開演 18:00
0775-20-6778

船場の賑わいを今に伝える
第6回
ハロウコン서트

2021年10月22日(金)
開演 18:30(楽屋18:00)

0775-20-6778

親子で一緒に♪楽しむ♪
ファミリーコンサート

2021年10月30日(土)
開演 11:00 楽屋 10:30

子ども 1,000円 大人 2,500円

0775-20-6778

親子で一緒に♪楽しむ♪
ファミリーコンサート

2021年10月30日(土)
開演 11:00 楽屋 10:30

子ども 1,000円 大人 2,500円

0775-20-6778

フォルテピアノで聴く
モーツァルト

18世紀ワグネルの音楽

2022年11/13(日) 開演 1:00pm 1:30pm
0775-20-6778

テレマン室内オーケストラ
オクタームコンサート

2022年11/23(日) 開演 1:00pm 1:30pm
0775-20-6778

延原武春
テレマン室内オーケストラ
ハロウ音楽コンサート

2022年12/12(日) 開演 13:30pm / 14:00start
0775-20-6778

テレマン室内オーケストラ
一新年を祝ひながら彩るオーケストラの音色

2022年1/8(土) 開演 14:00 楽屋 13:30
0775-20-6778

藤原大地の延原武春
テレマン室内オーケストラ

2022年1/22(日) 開演 14:00pm
0775-20-6778

アイネクライネナハトムジーク
ピアノ協奏曲第20番

2022年3/6(日) 開演 14:00pm
0775-20-6778

延原武春 指揮
テレマン室内オーケストラ

2022年3/10(土) 開演 18:00pm
0775-20-6778

親子で一緒に♪楽しむ♪
ファミリーコンサート

2022年3/19(日) 開演 11:00pm
0775-20-6778

ベートーヴェン 皇帝
ピアノ協奏曲第3番

2022年3/26(日) 開演 14:00pm
0775-20-6778

高田泰治×鷺見敏
バッハの神髄

2022年3/26(日) 開演 14:00pm
0775-20-6778

依頼公演の分布 (月別)

依頼公演	(主催公演)
4月	1公演 (1公演)
5月	0公演 (1公演)
6月	1公演 (1公演)
7月	6公演 (2公演)
8月	0公演 (0公演)
9月	5公演 (1公演)
10月	10公演 (1公演)
11月	12公演 (2公演)
12月	12公演 (2公演)
(2021年)	
1月	5公演 (2公演)
2月	3公演 (1公演)
3月	8公演 (1公演)
合計	63公演 (16公演)

依頼公演の分布 (地域別)

北海道	石川県	岡山県
青森県	福井県	広島県
岩手県	山梨県	山口県
宮城県	長野県	徳島県
秋田県	岐阜県	香川県
山形県	静岡県	愛媛県 1公演
福島県 5公演	愛知県	高知県
茨城県	三重県	福岡県
栃木県 1公演	滋賀県	佐賀県 1公演
群馬県 1公演	京都府	長崎県
埼玉県 3公演	大阪府 3公演	熊本県
千葉県	兵庫県 1公演	大分県
東京都	奈良県 7公演	宮崎県
神奈川県	和歌山県	鹿児島県 1公演
新潟県	鳥取県	沖縄県
富山県	島根県	その他

学校公演 について

2021年度の学校公演は、令和3年度文化庁子供育成総合事業一巡回公演事業（以下巡回公演）の他に令和2年度第3次補正予算「子どもの芸術文化体験機会の創出事業」（以下創出事業）も受託しました。

文化庁公演は鑑賞だけではなく体験にも重点を置いた事業であるため、公演に際しては共演のプログラムを用意し、事前に別日程のワークショップ（創出事業はワークショップなし）を実施しています。公演の内容は、バロック時代の有名な曲を中心に構成し、鑑賞する児童・生徒に馴染みの深いリコーダーの独奏曲や協奏曲などを取り上げております。基本的には短い曲が

◎巡回公演事業とは

文化庁が選定した文化芸術団体が、学校の体育館や文化施設でオーケストラ、演劇等の巡回公演を行います。本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演をより効果的なものとする事ができます。普段授業などで使っている体育館が、工夫次第で素晴らしい舞台へと変わっていく様子を体感することができます。

（文化芸術による子供の育成事業ホームページより）

多い構成となっていますが、プログラムを順にお聴き頂くと、各弦楽器からチェンバロ、トランペットと、バロック音楽のオーケストラで使用されている楽器について学べるように構成されています。さらに、プログラムにはバロック音楽や楽器についての簡便な説明も掲載しています。（右写真）

2021年度の公演では2020年度公演に引き続き接触機会の軽減のため、ワークショップを実施しない場合や、本公演では密集を避けるために通常は90分の公演を45分×2回公演にし、鑑賞人数を減らすなどの試みを実施しました。



文化庁巡回公演の日程

【当初の実施予定校】

東大和市立第一小学校 ☆
 大阪市立南中学校 ☆
 丹波市立鴨庄小学校 ☆
 相馬市立八幡小学校
 福島市立南向台小学校
 いわき市立湯本第三小学校
 鏡石町立第二小学校
 小山市立美田中学校
 深谷市立榛沢小学校
 東松山市立唐子小学校
 安中市立碓東小学校
 春日部市立武里西小学校
 さいたま市立岩槻小学校

太良町立大浦小学校 ☆
 愛媛県立西条市立河北中学校 ☆
 前橋市立新田小学校 ☆
 読谷村立読谷小学校 ☆
 熊本市立豊田小学校 ☆
 筑後市立西牟田小学校 ☆
 鹿児島市立花野小学校 ☆
 南伊勢町立南島西小学校 ☆
 大阪市立鶴橋小学校 ☆
 与論町立与論小学校 ☆
 佐世保市立皆瀬小学校 ☆
 福岡市立周船寺小学校 ☆

【実際の実施校】

9月 8日 東大和市立第一小学校 ☆
 9月 27日 大阪市立南中学校 ☆
 9月 29日 丹波市立鴨庄小学校 ☆
 10月 12日 相馬市立八幡小学校
 10月 14日 いわき市立湯本第三小学校
 10月 15日 鏡石町立第二小学校
 10月 26日 小山市立美田中学校
 10月 27日 深谷市立榛沢小学校
 10月 28日 東松山市立唐子小学校
 11月 1日 春日部市立武里西小学校
 11月 18日 太良町立大浦小学校 ☆
 12月 17日 西条市立河北中学校 ☆
 12月 22日 前橋市立新田小学校 ☆
 2月 2日 鹿児島市立花野小学校 ☆
 2月 8日 大阪市立鶴橋小学校 ☆

「☆」：令和2年度第3次補正予算「子どもの芸術文化体験機会の創出事業」

出演者
 指揮/監 藤井
 リコーダー/村田佳生
 歌・司会/中村朋子
 コンサートマスター/渡井咲乃
 テレマン室内オーケストラ

バロック音楽って何？

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの分類があります。
 「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。古くからと云う時代区分しから分類する場合は、代表的な作曲家はJ.S.バハ、G.F.ヘンデル、A.ヴィヴァルディ、G.P.テレマンなどです。
 当時は宗廟、教会、コンサート前のホールではなく、裕やかなお家柄で演奏されていたと、どういった時に演奏されたかという点、聴音の感じ



宮廷での演奏の様子

楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。本で出来た楽器は弦が4本張つてあります。弓には馬の尾毛の毛が塗られて、その毛を塗って、音をこらして音を鳴らします。ヴァイオリンが「一番長い音」、チェロやコントラ



ヴァイオリンとチェロの演奏
 ワイオリンは弦が4本張つて、音をこらして音を鳴らします。



チェンバロ



チェンバロの鍵盤

バスは強い音、そしてヴァイオリンは弱音を鳴らします。身体が大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて身体が大きくなります。弓の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは違い、黒い部分が少ない部分が多いです。ピアノは弦がハンマーでたたいて音を鳴らしますが、チェンバロは弦をはいて音を鳴らします。今のピアノと同じように音を鳴らす楽器が登場したのは、バロック時代に始まっています。

社会的活動 について

国際交流への協力

日本とドイツの交流は、1861年に江戸で日本と当時のプロイセンが修好通商条約を調印したことで始まり、2021年はこの条約調印から160周年という日独交流の記念の年に当たりました。そのため、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館主催による様々な周年行事が催され、その締めくくりとして日独交流160周年記念「アドベント・コンサート」が12月8日に開催されました。平素から大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館との関りが深い当協会としては、本公演に出演するという形で国際交流に協力致しました。

12月初旬はドイツではクリスマスを待ち望む「アドベント」の期間ということで、アドベントにちなんだ演目やバロック時代にドイツで活躍した作曲家であるバッハやテレマンの作品を演奏しました。

日独交流160周年イベント「アドベント・コンサート」

日時	2022年12月8日(水)
会場	大阪倶楽部4階ホール
曲目	G.F.ヘンデル:「ユダス・マカベウス」より「見よ、勇者は帰る」 G.Ph.テレマン:リコーダーとフルートのための協奏曲 リコーダー協奏曲 へ長調 J.S.バッハ:音階的幻想曲とフーガ -クリスマス・コーナー- A.コレリ:クリスマス協奏曲より「パストラール」 G.F.ヘンデル:オラトリオ「メサイア」より「ピファ」 きよしこの夜 J.S.バッハ:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 ブランデンブルク協奏曲 第5番より
出演	指揮:延原武春 チェンバロ:高田泰治 ヴァイオリン:浅井咲乃 フルート:森本英希 リコーダー:村田佳生 テレマン室内オーケストラ



再生紙の使用

マンスリーコンサート(年間8公演)のチラシ(A4サイズ)及びプログラム(B4サイズ)、定期演奏会(年間8公演)のプログラム(A3サイズ)には、環境に配慮し、100%リサイクルの再生ケント紙である「クラークケント」を使用致しました。

25歳以下1000円券

若い世代のクラシック音楽離れが顕著になっている中、18世紀音楽のすばらしさを気軽に味わっていただき、文化振興の一助になればという思いから、主催公演では25以下の方向けに1000円券の販売を実施しました。

子供向けコンサートの実施

クラシック音楽ファン層の次世代・次々世代育成のために親子で楽しめるファミリーコンサートを、あすとホールや公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団と協力し、実施しました。お子様にも親しみやすい演目を中心に、大人も楽しめる企画となりました。

年表

1960s

1963

延原武春を中心にテレマンアンサンブル発足。
(現：テレマン室内オーケストラ)

1965

定期演奏会スタート。

1966

大阪文化祭賞 (以後 72 と 82)

1968

マンスリーコンサートスタート (会場は津村別院)

1969

テレマン室内合唱団が発足し、室内楽における総合団体
「大阪テレマン協会」となる。

1970s

1970

音楽クリティッククラブ賞 (以後 75 と 76)

1975

大阪府民劇場賞 (以後 85)

1977

文化庁芸術祭優秀賞 (関西より初受賞)
ビクターレコード制作「テレマン協会シリーズ」発売開始。

1980s

1981

G.Ph. テレマン生誕 300 年を記念し、コンサート
(文化庁芸術祭主催)、出版、レコードを発売。

1982

定期演奏会にて L.v. ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付」
を合唱団・オーケストラ合わせて 100 人で演奏(100 人の第九)。
テレマン室内管弦楽団がドイツへ演奏旅行。テレマンの生地
マクテブルクでの公演実現。

1984

マンスリーコンサートの会場が大阪倶楽部になる。

1985

テレマン室内合唱団・同管弦楽団総勢 70 名、東ドイツ
へ演奏旅行。(“バッハ生誕 300 年記念国際音楽祭” に出演)
サントリー音楽賞 (関西より初受賞)

1987

「ベルリン市制 750 年記念音楽祭」に参加。また、ロンドン
デビュー公演を実現。
「ソウル国際音楽祭」参加。日本の室内楽団では初の韓国公演。

1989

テレマン室内合唱団が創立 20 周年を迎え、教会音楽シリーズ
も 100 回記念演奏会を行う。
フランス革命 200 年を記念し、パリ、ボルドー、ヴァルドアア
ズ各都市で公演を行う。

1990s

1991

バロック楽器の団体「コレギウム・ムジクム・テレマン」が
発足。サイモン・スタンデイジヤ中野振一郎主導のもとで、
様々な試みに着手。海外公演や CD 収録の他、数多くの本邦
初演・世界初演を行う。
G.F. ヘンデル「メサイア」の異なった 9 種の版を連続的に
公演。(～ 01)

1993

季刊誌「ゲオルク」創刊 (～ 03)

1995

G.F. ヘンデルの権威・故渡部恵一郎氏の監修のもと、ヘンデ
ル作曲の本邦初演のオラトリオをジェスチャー付きで連続
公演。(～ 01)

1999

中野振一郎&コレギウム・ムジクム・テレマンによるドイツ
演奏旅行。

2000s

2000

ヘンデルのオラトリオ公演にて、上方講師・旭堂南左衛門
が共演。
琵琶湖水質浄化の紙の使用開始。演奏会を通じた環境改善活
動に着手。
小説「延原武春」(作：中野順哉)が東方出版より出版。
【CD】「J.S. バッハ：チェンバロ協奏曲集」

2002

御当地の歴史を取材した創作講談とのコラボレーション
「音楽絵巻」がスタート。
高田泰治がチェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを弾き分
ける協奏曲の夕べに出演し、ソリストデビュー。
【CD】「ラ・フォリア」
【CD】「バッハ以降のチェンバロ協奏曲集」

2003

中野振一郎率いるコレギウム・ムジクム・テレマンがドイツ
へ演奏旅行。「バッハ・フェスティバル in ライプツィヒ
2003」に出演し、C.P.E. バッハ作曲「チェンバロ協奏曲」

の復元後、世界初演を行う。

【CD】「オーボエ協奏曲・バロック名曲集」

2004

【CD】「星に願いを」

2007

ハイドン作曲オラトリオ「四季」の公演が大阪文化祭グランプリ受賞。

2008

協会創立45周年を記念して、延原指揮によるベートーヴェン交響曲全曲及び合唱幻想曲、荘厳ミサ曲連続公演を開催。ベートーヴェンの指示したテンポとクラシカル楽器の使用によるこの公演は高く評価されCDに。

【CD】「テレマン作品集②7つのトリオ・ソナタ」

2009

【CD】「ベートーヴェン・チクルス」リリース。(～11) 延原、ドイツ連邦共和国より功労勲章を受章。延原が大阪フィルハーモニー交響楽団を指揮するシリーズ(ベートーヴェン交響曲全曲)が始まる。「テレマン室内管弦楽団」改称「テレマン室内オーケストラ」に改称。

2010s

2010

延原、日本フィルハーモニー交響楽団の横浜定期演奏会を指揮。

2011

コレギウム・ムジクム・テレマン解散。「指揮者・延原で」というコンセプトをもとに、関西在住のフリーランスの奏者を集めオーケストラ Orchestra Japan 2011 を結成し、マーラー交響曲第4番を演奏。【CD】「ブラームス：交響曲第1番」【CD】「高田泰治チェンバロ・アルバム Vol.1」ウッラ・ブンディース、首席客演コンサートマスターに就任。

2012

延原、Orchestra Japan 2011 を率いてドヴォルザーク交響曲「新世界より」を好演。【CD】「マーラー『亡き児を偲ぶ歌』『交響曲第4番』(レコード芸術)特薦盤」【CD】「浅井咲乃：ヴィヴァルディ『ムガール大帝』」創立50周年事業「大大阪ターフェルムジーク」を開催。

2013

【CD】「U. ブンディース 高田泰治 J.S. バッハ 6つのソナタ」Orchestra Japan 2011 を再結成し、3月11日にレクイエムを奏で続ける追悼公演を開始。

2014

ブランデンブルク州知事に対し、J.S. バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を大阪にて連続公演することを公約しシリーズ開始。大阪市中央公会堂での定期演奏会がスタート。

2015

【CD】「高田泰治 モーツァルト・アルバム」【CD】「U. ブンディース 高田泰治 モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ」

中野、シンポジウム「18歳の選挙権で『機嫌よう暮らす』を考える」を関西領事団とともに開催。

2016

【CD】「高田泰治 うつろい」、【CD】「高田泰治 J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲」高田泰治がシーボルト賞受賞式にてドイツ大統領御前演奏に出演。延原武春が音楽監督兼 CEO に就任。

2017

高田泰治が平成28年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。【CD】「U. ブンディース 高田泰治 古典派二重奏曲の系譜」定期演奏会「中之島をウィーンに！」シリーズがスタート。

2018

創立55周年記念事業「テレマンの街ハンブルクから 中之島をウィーンに！」を開催。延原武春指揮テレマン室内オーケストラが、第九アジア初演百周年記念「よみがえる「第九」演奏会」に出演。【CD】「高田泰治ベートーヴェン・アルバム」

2019

浅井咲乃が平成30年度「咲くやこの花賞」音楽部門を受賞。4月、マンスリーコンサートが500回を迎える。5月、P. エスカンデ氏がテレマン室内合唱団指揮者に就任。11月、ベスト・プロデュース賞を受賞。【CD】「ブランデンブルク協奏曲 全曲」 「高田泰治 ショパン&シューマン ピアノ協奏曲集」

2020

定期演奏会大阪公演で新型コロナウイルス感染症対策も兼ねた縮小編成のベートーヴェンの交響曲シリーズを実施し、ベートーヴェンが貴族の邸宅で実施していた試演会を再現。ニューオーサカホテル心齋橋にてテレマン作曲「食卓の音楽」と18世紀当時のメニューを再現したディナーとのコラボレーション企画「18世紀貴族の晩餐会」を実施。【CD】「延原武春 心のオーボエ Vol.2 アヴェ・マリア」

2021

延原武春オーボエ生活60周年を記念し、リサイタル2公演と個展を実施。【CD】「延原武春×小林道夫『無言歌』」【CD】「テレマン作品集③様々な楽器のための協奏曲」

日本テレマン協会 後援会について

1980年、故鈴木剛氏（元住友銀行頭取）が中心となり日本テレマン協会の活動を支援するために発足。現在は多くの法人、個人の皆様にご加入いただき、さらなる会員の拡大を目指して積極的な活動を続けています。

役員名簿

2022年7月現在

会 長	尾崎 裕（大阪ガス）	特別顧問	野村明雄（大阪ガス）
副 会 長	香山 真（住友生命保険） 沖中 進（朝日放送グループホールディングス）	顧 問	齋藤元彦（兵庫県知事） 荒井正吾（奈良県知事） 久元喜造（神戸市長）
理 事	福田里香（パナソニックホールディングス） 原 真一（コーナン建設） 北山 隆（大阪音楽大学名誉教授） 宮島登美子（大阪ユニセフ協会） 小野敏夫（クラシック音楽興隆会） 室町鐘緒（三菱UFJ銀行） 武市泰夫（関西電力） 井上礼之（ダイキン工業） 中野剛志（三井住友銀行） 小林哲也（近鉄グループホールディングス） 佐野吉彦（安井建築設計事務所） 入谷泰生（日本クルーズ客船） 鳥井信吾（サントリーホールディングス） 吉田有宏（千寿製菓） 杉浦 正（共和メディカル） 川崎益彦（桜宮ゴルフクラブ） 大林剛郎（大林組） 松田喜成（ニューオーサカホテルエンタープライズ）		リチャード・メイ・ジュニア（アメリカ総領事） マルティン・エバーツ（ドイツ総領事） セーラ・ウテン（イギリス総領事） ジャン＝マチュー・ボネル（フランス総領事） マーク・カウバース（オランダ総領事） テルスキフ・アレクサンダー（ロシア総領事） ルイーダ・ディオダーティ（イタリア総領事） イエルーン・ヴェルゲイレン（ベルギー大使館公使参事官） ブ・トアン・ハイ（ベトナム総領事） クリット・タンカナラット（タイ総領事） 趙 成烈（駐大阪大韓民国総領事） トレヴァー・ウィリアム・ホロウェイ（オーストラリア総領事） 多川俊映（興福寺寺務老院） ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院教授） 池長 潤（カトリック大司教） 千 宗守（武者小路千家家元） 高口恭行（一心寺長老） 小野善康（経済学者） 高木慶子（上智大学グリーンケア研究所） 前田万葉（カトリック 枢機卿）
監 事	稲畑勝太郎（稲畑産業） 陳 英智（三洋実業）		

年表

1980s

1980

5月発足。第1回理事会開催。会長に鈴木剛氏が就任。

1982

3月、理事会にて顧問の設置が承認され、11月には顧問が決定。

12月、鈴木剛氏の逝去に伴い、原清氏が第2代目の会長に就任。

1990s

1990

10月、原清氏急逝。

1991

故原会長の後を受けて、監事の波多野一雄氏が第3代目の会長に就任。

1997

7月、大西正文氏が第4代目の会長に就任。

2000s

2007

7月、野村明雄氏が第5代目の会長に就任。

2010s

2016

7月、尾崎裕氏が第6代目の会長に就任。

法人会員

2022年7月現在

株式会社IHI 関西支社	サントリーホールディングス株式会社	株式会社博報堂関西支社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	JFEエンジニアリング株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
愛知時計電機株式会社大阪支店	JFEスチール株式会社	阪急電鉄株式会社
医療法人 友仁会 浅井整形外科	株式会社芝川本店	非破壊検査株式会社
朝日放送テレビ株式会社	情報技術開発株式会社	フルライン株式会社
稲畑産業株式会社	株式会社新川製作所	ホテルモントレグループ
今津建設株式会社	新コスモス電機株式会社	株式会社三井住友銀行
江崎グリコ株式会社	シンプルライフ21	株式会社三菱UFJ銀行
株式会社遠藤克彦建築研究所	住友生命保険相互会社	矢崎エナジーシステム株式会社 大阪支店
大阪ガス株式会社	千寿製薬株式会社	株式会社安井建築設計事務所
大阪ガス株式会社 東京支社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	一般財団法人山田満音楽芸術振興会
株式会社大林組 大阪本店	株式会社タイキ	読売新聞大阪本社
関西テレビ放送株式会社	ダイキン工業株式会社	讀賣テレビ放送株式会社
関西電力株式会社	株式会社大丸松坂屋百貨店	学校法人LABO-K学園
株式会社カンダ	大和ハウス工業株式会社	株式会社りそな銀行
共和メディカル株式会社	株式会社竹中工務店	株式会社ロイヤルホテル
近鉄グループホールディングス株式会社	株式会社帝国ホテル	ロックペイント株式会社
株式会社きんでん	株式会社電通 関西支社	株式会社ワキタ
株式会社クボタ	東京海上日動火災保険株式会社	匿名3社
株式会社公益社	株式会社トーケンリースサービス	
鴻池運輸株式会社	東邦ガス株式会社	
有限会社神戸楽譜	中井エンジニアリング株式会社	
株式会社公洋	名古屋 宗次ホール	
株式会社コジマ	南海電気鉄道株式会社	
コーナン建設株式会社	西日本旅客鉄道株式会社	
西部ガス株式会社	日鉄P&E株式会社	
桜宮ゴルフクラブ株式会社	日本クルーズ客船株式会社	
株式会社産業経済新聞社	日本生命保険相互会社	
三幸メリヤス株式会社	株式会社ニューオーサカホテルエンタープライズ	

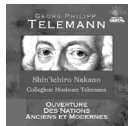
個人会員

2022年7月現在

安積博子	岡本好平	北浦告三	重森哲二	高橋 香	萩原直弘	山口敦子
天野和生	小川 寛	楠雄一郎	畷田潤作	田中佐代	橋本依子	山口佳恵子
池田英美代	小野敏夫	黒笹倫代	清水淳彦	津越悦郎	廣川信一	山住嶮植
泉さおり	小野久恵	黒田千之	杉浦 正	辻本泰規	福居誠二	吉田好道
伊藤康夫	梶原健司	高 仁宝	直田春夫	David Jack	藤本英子	米沢 康
今井由美	加藤光司	小林 誠	角南忠昭	土井英一	松田喜成	和田誠一郎
内田友樹	加藤卓哉	小谷公穂	鷺見和彦	土井周子	三木依子	匿名30名
延 秀恵	金多賀淑久	酒井俊幸	鷺見博子	東條良賢	南 茂夫	
大西國忠	川岸弘賢	佐藤晴彦	鷺見良彦	仲窪菜穂子	三宅成典	
大西淑子	菊枝英興	里見悦子	園崎明夫	中西 守	宮本敏子	
岡村敬二	菊竹開三	更家悠介	高田満國	萩原登志子	家辺孝司	

〈敬称略・順不同〉

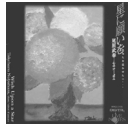
日本テレマン協会ディスコグラフィー Discography



●テレマン作品集1
WWCC-7406
ディレクター：中野振一郎
コレギウム・ムジクム・テレマン



●バロック・オーボエ協奏曲名曲集
WWCC-7432
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



●心のオーボエ
WWCC-7478
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



●100人の第九
WWCC-7543
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ



●テレマン作品集2
WWCC-7567
オーボエ：延原武春
リコーダー：北山 隆



●ベートーヴェン
交響曲第1番, 第2番
WWCC-7610
(クラシカル楽器使用)



●ベートーヴェン
交響曲第3番「英雄」, 交響曲第4番
WWCC-7622
(クラシカル楽器使用)



●ベートーヴェン
交響曲第5番「運命」, 交響曲第6番「田園」
WWCC-7629
(クラシカル楽器使用)



●ベートーヴェン
交響曲第7番, 交響曲第8番
WWCC-7639
(クラシカル楽器使用)



●ベートーヴェン
交響曲第9番「合唱付」
WWCC-7658
(クラシカル楽器使用)



●ベートーヴェン
「合唱幻想曲」 & 「ミサ曲 ハ長調」
WWCC-7667
(クラシカル楽器使用)



●高田泰治 チェンバロ・アルバム vol.1
WWCC-7684
J.S. バッハ：パルティータ 第2番
イギリス組曲 第2番 ほか



●マーラー 亡き児を偲ぶ歌, 交響曲第4番ト長調
WWCC-7695-6 (2枚組)
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



●ヴィヴァルディ
ヴァイオリン協奏曲「ムガール大帝」「四季」
WWCC-7706
ヴァイオリン：浅井咲乃



●バッハ 6つのソナタ
WWCC-7715-6 (2枚組)
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ：高田泰治



●浅井咲乃の「よろこび」と「かなしみ」
WWCC-7758
F. クライスラー：「愛の喜び」・「愛の悲しみ」
J. マスネ：タイスの瞑想曲 ほか



●ブラームス：ドイツ・レクイエム
WWCC-7778
指揮：延原武春
Orchestra Japan 2011



●モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ
WWCC-7783
ヴァイオリン：U. ブンディース
フォルテピアノ：高田泰治



●モーツァルト・アルバム
WWCC-7788
フォルテピアノ：高田泰治
モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第14番ほか



●うつろい
WWCC-7802
チェンバロ・フォルテピアノほか：高田泰治
L.v. ベートーヴェン：「月光」ソナタ ほか



●J.S. バッハ ゴルトベルク変奏曲
WWCC-7823
チェンバロ：高田泰治



●古典派二重奏曲の系譜
WWCC-7832
ヴァイオリン：U. ブンディース
チェンバロ・フォルテピアノ：高田泰治



●高田泰治 ベートーヴェン・アルバム
WWCC-7876
フォルテピアノ：高田泰治



●ブランデンブルク協奏曲全曲
WWCC-7901~2
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ



●高田泰治 ショパン&シューマン ピアノ協奏曲集
WWCC-7906
指揮：延原武春 フォルテピアノ：高田泰治
テレマン室内オーケストラ



●アヴェ・マリア 延原武春 心のオーボエ Vol.2
WWCC-7928
オーボエ：延原武春
テレマン・アンサンブル



●延原武春×小林道夫「無言歌」
WWCC-7952
オーボエ：延原武春
ピアノ：小林道夫



●テレマン作品集3
WWCC-7957
指揮：延原武春
テレマン室内オーケストラ

2021年度版 一般社団法人日本テレマン協会 活動報告書

発行 一般社団法人日本テレマン協会

〒530-0002

大阪市北区曽根崎新地2丁目1-17

TEL06-6345-1046

FAX06-6345-1045

tij@cafe-telemann.com

<http://www.cafe-telemann.com/>

